

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 抗線維化治療による特発性肺線維症患者の GAP stage での予後の検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤 康博

[研究の背景] 特発性肺線維症 (IPF) は慢性進行性の呼吸器疾患です。診断からの平均予後は 3-5 年であり、努力肺活量や肺拡散能等を含めた様々な臨床指標や Gender-Age-Physiology (GAP) index で層別化した GAP stage といった分類と予後との関連が報告されています。IPF に対する治療薬としてピレスパ®、オフェブ®が保険承認されており疾患進行を遅らせる効果が認められています。それらの抗線維化薬使用による GAP stage 毎の予後検討の報告は少ないです。

[研究の目的] IPF 患者における抗線維化薬使用による GAP stage 毎の予後を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008 年 12 月より、2017 年 9 月までの期間でピレスパ®またはオフェブ®を内服した IPF の方。

●利用する検体、カルテ情報

年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、基礎疾患、呼吸困難感、運動耐容能、外科的肺生検歴、急性増悪歴、併用薬、抗線維化薬用量、抗線維化薬内服期間、検体検査 (KL-6、SP-D)、PaO₂、肺機能検査

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 伊東 友憲

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139